



## 「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」会報 第9号

### <巻頭言>

## ホップ、ステップ、そして皆で力を合わせてジャンプ！

(一社)新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会理事長 松井 博和

昨年春に、新型コロナウイルス感染症という言葉を目にしたと思えば、瞬く間に全国に拡大し、卒業式、入学式、入社式などを皮切りに、東京オリンピック・パラリンピックも含め、人の集まる多くの行事が取り止めとなりました。本会でも、昨年6月開催の恒例のフォーラムを中止せざるを得ませんでした。世界は今、社会経済活動に甚大な影響を受けています。感染の収束が見えない状態で、コロナ禍の中での生活スタイル、社会活動のあり方が模索されています。

そのような中、昨年2月に私が理事長に就き、最命題の記念館募金活動を中心に多くの仲間と一緒に活動を進めてきました。別表に役員一覧をお示しします。快く役員や顧問をお受け下さった皆さまに厚くお礼を申し上げます。2013年の本会スタート時からの仲間、私とともに新しく加わった仲間です。心強い皆さんに支えられて無事1年が過ぎました。

この1年の主なご報告を致しますが、募金の成果は毎月はじめに、前月末までの協力者(ご寄付者)や達成額をホームページ上に載せております。2021年3月末までの2020年度は、あらたに延べ約900件から、これまでの累計3,300万円となるまでに募金額が増えました。この1年は、新渡戸稲造先生の後輩たち、すなわち北大の卒業生たちの応援が随分ありました。就任時に10,000人の”新渡戸の子”運動にしたいとお伝えしましたが、多くの皆さんのお陰で、着実に目標に向かっていきます。

また、コロナ禍の中、7月から計10回にわたる連続講座を無事終えることができました。愛生館で、換気に配慮し、3密に気を付けながら行われましたことをお伝えします。本会顧問の三島徳三先生が上梓された『新渡戸稲造のまなざし』の出版記念特別講演会も、8月と9月の2度にわたって時計台ホールにて行われました。さらには10月に「音楽と講演の夕べ」が、これも時計台にて行われました。2つの新渡戸稲造読書会も毎月続けて行われております。



記念公園に新たに設置された  
“新渡戸デザイン”自販機



4月9日 手交式 (北海道新聞より)

手許に届く際には、幾つかのサイトが延長（ふるなびCF）、再開（ふるさとチョイス）されているものと思います。「新渡戸、ふるさと納税、白糠町代理」で検索すると、サイトが出て参りますので、是非とも引き続きご協力下さいますようあらためてお願い致します。

嬉しいお話はさらにあります。1900年に、新渡戸稲造が病氣療養中のアメリカで『Bushido : The Soul of Japan』を出版しましたが、その翌年、台湾総督の児玉源太郎が右腕とした後藤新平民政局長に乞われて1901年に台湾総督府技師、殖産課長として台湾に赴きます。サトウキビからの近代的製糖工業を興し、その後の台湾に莫大な収益をもたらしました。そのきっかけを作った児玉源太郎の顕彰会の方々（山口県周南市、山下武石会長、西崎博史事務局長）とこのたび強いつながりを得ました。ご寄付を頂くばかりか、ニュースレターに本会の募金活動を紹介して下さいました。2つの会を結んで下さいました(株)トクヤマ社長であり北大東京同窓会会長横田浩様(本会顧問)には心より感謝申し上げます。児玉源太郎に関心のおありの方は顕彰会のHP ([www.kodamagentaro.com/member/](http://www.kodamagentaro.com/member/)) から是非会員になって下さい。また、盛岡の新渡戸基金が発行する『太平洋の橋』には、いつもご厚意を頂き、全国の新渡戸ファン向けの募金のお願い記事を書いておられます。新渡戸仲間のこちらにも会員募集しております ([www.nitobe.com/ijikai\\_001.htm](http://www.nitobe.com/ijikai_001.htm))。縦に横に、多くの皆さんや組織が繋がり、素晴らしい世を創りたいものです。

ユニークな応援もあります。本年4月7日、北海道コカ・コーラ(株)のご厚意により、募金型自販機を建設予定地に設置頂きました。山田雄亮役員(本会運営委員)にはこの場を借りてお礼を申し

12月には、大変嬉しいことに「ふるさと納税型クラウドファンディング (CF)」がスタートしました。道東白糠町のご厚意により、白糠町代理で開始されたものです。私と棚野孝夫町長(本会顧問)の未来を創る北海道の人材育成の考えが合致して、このような特段のご協力を得ることとなりました。紙上にて深く感謝申し上げます。CFは、税控除の範囲内という金額(おおよそ住民税額の2割が目安です)であれば、2千円の手数料以外は、税の還付(所得税)と控除(住民税)があるというものです。皆さんの居住地への税の一部が白糠町に回されて、その全額が記念館建設の基金に充てられるというものです。4月9日、3月末までに5つのサイトに集まった合計2,285,000円を記念館建設基金として本会にわたして頂きました(手交式参照)。本会誌が、皆さんのお



表も裏も“新渡戸”をあしらった募金型自販機



上げます。会報が皆さんに届くまでには、特別ゲストをお招きしてテープカットが行われることになっております。

これらのトピックスは度々新聞報道で紹介されており、募金活動に一層の拍車がかかっております。今年は、記念館の設計にも着手します。連続講座、読書会にも一層力が入ります。昨年延期となった青山淳平先生のフォーラムも開催されます。夢が実現となる記念館での活動の合言葉は下記のようなことでしょうか。

- ・ 夢と希望で地域・国・世界の未来を創る場を
- ・ ”新渡戸の子”として国際平和、世界情勢、地球環境を学ぶ
- ・ SDGs（持続可能な開発目標）の実践意識の形成
- ・ 未来意識の発展拠点を作る
- ・ 国内や国際社会のリーダーを育成
- ・ 講演、シンポジウム、出前授業の斡旋、読書会などを
- ・ 新しい精神的文化的社会を作る
- ・ 時計台に続く新しい観光名所に
- ・ 今こそ新渡戸の人格教育が必要
- ・ 新渡戸イズム：利他的、慈愛と犠牲、共生を
- ・ 第2、第3の新渡戸稲造を育成

2013年からの秋山代表と皆さんの活動を”ホップ”とし、新しい仲間も加えたこの1年の活動を”ステップ”とするなら、これからの総力挙げての最終ステージは”ジャンプ!”と言えます。夢を実現に向けて、ホップ、ステップ、ジャンプ!と、皆で力を合わせていきましょう。

\*\*\* 昨年の第8号会報以降の「ひと言応援」メッセージ（2020年6月以降、肩書は当時のまま）\*\*\*

- ・ 飛田稔章（JA北海道中央会会長、幕別町）  
「農の精神を大切に、新渡戸先生の教えと共に活動される事を望みます」
- ・ 高井保秀（オルソリバーズ㈱監査役、我孫子市）  
「学ぶことは視野を広げ、頭を柔らかくする。共に育ちましょう」
- ・ 江崎佑（ジョージ農園/HIROKA JAM代表）  
「フロンティア精神を常に抱き続ける母校をこれからもずっと応援しています！」
- ・ 長田和夫（北海道生涯学習協会職員、札幌市）  
「いつでも、誰でも、どこでも学べる環境づくりのご支援をします」
- ・ 豊嶋孝一（サッポロビール㈱静岡工場長、焼津市）  
「新渡戸先生の思いを胸に、人づくりを応援します！」
- ・ 小野桂子（ビジネスサイエンス&テクノロジー代表、東京）  
「人材育成の精神を継承する一方、革新を恐れず発展を願います」
- ・ 高田康一（北海道協同組合通信社編集部長、札幌市）  
「先人の教え、協同の精神を伝える場所になってほしいです」



- ・青山淳平 (作家、松山市)  
「遠友夜学校の教育精神が広まることを応援し期待します」
- ・伴秀実 (元 NTT 北海道テレマート社長・星槎道都大特任教授、札幌市)  
「一生の学びに楽しく出会う場に。 “座辺師友” 」
- ・廣重勝彦 (北大新渡戸カレッジフェロー、横浜市)  
「学びたいという意欲のあるすべての皆様にとり、希望の場となることを切に願っております」
- ・矢島 収 (北海道消費者協会専務理事、札幌市)  
「志は高く！世界の若者にエールを！」
- ・細井眞澄 (眞澄建築設計社代表、さいたま市)  
「新渡戸記念中野総合病院の建築顧問として新渡戸精神を継承しております」
- ・三木起代美 (翻訳家、静岡県長泉町)  
「小さなお子様でも興味の持てる知識一辺倒ではないワークショップの場に」
- ・武野伸二 (北海道消費者協会専務理事、札幌市)  
「世界に羽ばたいた郷土の偉人をもっと大切にしたいですね」
- ・久保信彦 ( (一社) アニマルウェルフェア一畜産協会顧問、札幌市)  
「50年後の北海道を築く集団になって欲しいですね」
- ・山田勝重 (フジッコ取締役、豊中市)  
「自信を信じ、考動する人格形成を下支えできる記念館となるよう期待」
- ・渡邊二郎 (ブリヂストンビジネスサービス(株) 社長、東京)  
「大いなる志をもって学びを重ねる若人の夢が叶いますように」
- ・植松高志 (北大関西同窓会会長、大和郡山市)  
「皆で創る記念館が『世界の夢と希望のかけ橋』となることを祈念します」
- ・石島力 (酪農学園常務理事、江別市)  
「21世紀の寺子屋!! やはり人が宝。多種多様な人材を育てる拠点となるよう期待してます」
- ・三ツ井敏明 (新潟大学農学部教授、新潟市)  
「記念館を通じてチャレンジ精神が末永く引き継がれることを願ってます！」
- ・瀬川明廣 (長沼町民生委員児童委員協議会会長、長沼町)  
「大志！文化！平和！台湾旅行を通して新渡戸精神を知ったこと、私の人生の宝物です」
- ・富岡圭 (主婦、札幌市)  
「新渡戸先生の思いをつなぐ応援をしたいです」
- ・杉江和男 (北大校友会エルム会長、佐倉市)  
「女性を含めた貧困児童の教育は、全人教育実践の場でも有ったと思います」
- ・谷寿男 (鷹栖町長)  
「希望の大地・北海道が世界の人々の学びの場となることを期待しています」
- ・吉村美穂 (ソプラノ歌手、草津市)  
「キリストの固い岩の上に建てられた、この学び舎に祝福がありますように」



- ・野田常喜 (ピアニスト、京都市)  
「新渡戸氏のキリストへの信仰と志しを広く知らせる拠点となりますように」
- ・堂真道 (どう 歯科クリニック代表、札幌市)  
「新渡戸稲造先生の素晴らしい功績が多くの人々の知る所となりますように」
- ・涌井和広 (ローソン上級執行役員、鎌倉市)  
「北からの良い風を楽しみにしております」
- ・福山利範 (新潟大学名誉教授、新潟市)  
「カオスの世界、立て直す新基軸を創出する若者よ、出でよ、北の大地から」
- ・合田正毅 (新潟大名誉教授、新潟市)  
「新渡戸稲造や内村鑑三などなど、札幌農学校が輩出した人材は世界の宝です」
- ・加藤祐輔 (農研機構ユニット長、北大第1号の女子学生・加藤セチ縁者)  
「後進の女性研究者を大事にしたセチも、思いは新渡戸先生と同じでしょう」
- ・栗木隆 (江崎グリコ(株)取締役、吹田市)  
「憧れの北の大地にまた一つ夢と希望の場を作ってください」
- ・西崎博史 (児玉源太郎顕彰会事務局長、周南市)  
「札幌遠友夜学校と児玉文庫の精神が今に生かされることを願って」
- ・当真要 (愛媛大学農学研究科准教授、松山市)  
「開けた学び舎からたくさんの挑戦者が生まれ飛び立っていくのを願う！」
- ・大利徹 (北大総合化学院長、札幌市)  
「遠友夜学校記念館からの新渡戸スピリットの発展を期待します」
- ・早坂純夫 (剣淵町長)  
「歴史に学び、今を成し、未来を創造する。前例は自らが創るの。」
- ・坂上悟 ( (公財) 北海道農業公社企画管理担当部長、江別市)  
「我が国をリードする世界レベルの人材が輩出される拠点となることを祈念します」
- ・山本進 (東神楽町長・北海道公民館協会会長)  
「現在にも通じる新渡戸稲造氏の理念を形にし、地域で共に学び、未来を創る人材を育てましょう」
- ・川村和彦 (熊谷組執行役員、東村山市)  
「新渡戸先生の想いを受け、北海道の大地から世界を変える人材が生まれ続けることを祈っております」
- ・石田康幸 (岩見沢農業高校教諭、岩見沢市)  
「新渡戸稲造先生の精神から、次代を築く創造力を学べる場。楽しみです！」
- ・吉田典之 (読売新聞東京本社編集委員、東京)  
「太平洋の橋を志すも釘の一本止まり。後進の勇躍を願っています」



記念館完成予想図  
© Naomi Darling Architecture, LLC



## 札幌遠友夜学校記念館建設募金クラウドファンディングのご案内

本会開始当初からの最大の目標である札幌遠友夜学校記念館建設に向けて、広く建設資金のための募金を呼びかけてまいりました。現在までの寄付金の累計は約**3,300万円**です。新渡戸が創設した夜学校の志を継ぐ身近な“知の拠点”として皆さんに活用していただける記念館の建設に必要な**目標額5,000万円**に到達しましたら、いよいよ建築の準備に入り、2023年3月の完成を目指しております。通常の振込等のほか、“お徳感のある”クラウドファンディングを是非ご活用いただき、“最後の一押し”への皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

クラウドファンディングについて、まだ馴染みのない方や、面倒そうだなと感じていらっしゃる方たちにも安心してご参加いただけるように、白糠町企画総務部企画財政課にご教示ご協力いただき、手続き等をまとめました。

### 北海道白糠町 ふるさと納税 ～ 手続き と Q & A ～

#### \*\* ふるさと納税の手続き \*\*

##### ◆ インターネットからの場合

1. さまざまな「ふるさと納税ポータルサイト」から下記例のように選択・検索する
  - ・ ふるなびクラウドファンディング→プロジェクト一覧
  - ・ ふるさとチョイス→上部バナー「ガバメントクラウドファンディング」→「新渡戸」検索
  - ・ ふるさと納税ニッポン!→地域「北海道」→白糠町（町名クリック）→応援プロジェクト
  - ・ 楽天市場→「ふるさと納税 新渡戸」で検索
2. 寄付申し込みの手続き（氏名、ふりがな、メールアドレス、住所、電話等を記入）を行い、入金（寄付金額、決済方法の指定等）する
3. 白糠町から確定申告を行う際の寄付を証明する書類「寄附金受領証明書」または、「ワンストップ特例申請書」が送られてくる
4. 「寄附金受領証明書」を添付して確定申告を行う、または、「ワンストップ特例申請書」を返送する

##### ◆ インターネットを使いたくない場合

1. 白糠町へ連絡（01547-2-2171 内線351）→郵便振替用紙が送付される
2. 郵便局で入金する
3. 白糠町から確定申告を行う際に必要な書類「寄附金受領証明書」、または、「ワンストップ特例申請書」が送られてくる
4. 「寄附金受領証明書」を添付して確定申告を行う。または、「ワンストップ特例申請書」を返送する

※寄付をする前に下記サイトより、ふるさと納税による税額控除上限額を調べておくと、目安となる控除額を効率よく確認することができる

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000408217.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000408217.pdf)

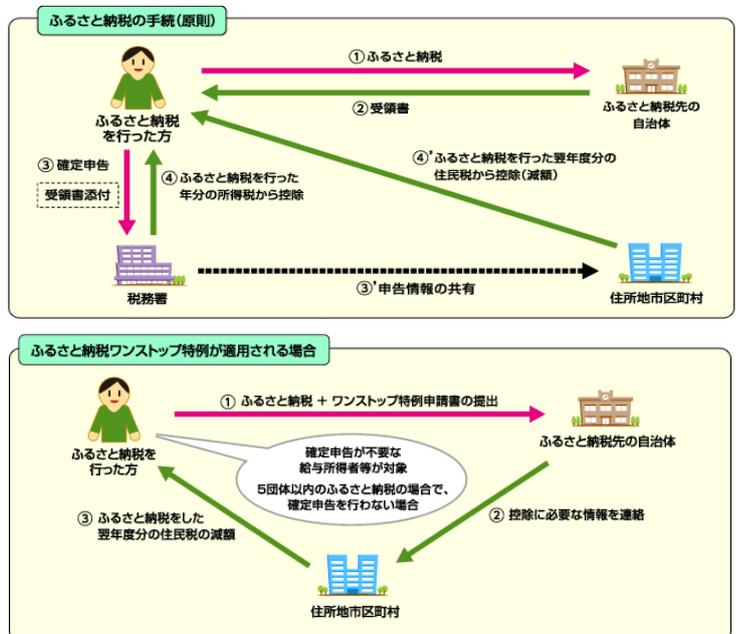


\*\*\* Q & A \*\*\*

- ◇ Q: クラウドファンディング (Crowd Funding) について教えてください。  
 A: インターネットを通して自治体や地域が、不特定多数の人から資金を募ることを言います。今般ご案内するクラウドファンディングは、ふるさと納税としての寄付になりますので、インターネットを通さず直接白糠町へご連絡をいただいても、税制上の優遇を受けることが可能です。
- ◇ Q: ふるさと納税とクラウドファンディングは何が違うのですか？  
 A: 用途を明確にして寄付金を募集することをクラウドファンディング型ふるさと納税と呼称しております。ただし、クラウドファンディング型ふるさと納税の場合、募集期間が決まっていたり、お礼の品が用意されていない場合がございますので、詳しくは白糠町までご確認ください。
- ◇ Q: 目標額を達成しなかった場合、寄付金はどうなりますか？  
 A: 未達成であっても上回った場合でも、集まった全ての寄付金を『考える会』にお渡しいたします。
- ◇ Q: ふるさと納税型の利点は何でしょうか？  
 A: 自治体 (ここでは白糠町) に対してふるさと納税 (寄付) すると、その額のうち2,000円を超える部分について、一定の上限まで、原則として所得税・個人住民税から全額が控除されます。例えば、年収700万円の給与所得者が、30,000円のふるさと納税をすると28,000円が控除されます。しかし、『考える会』には全額の30,000円がお渡しされます。すなわち、お暮しの自治体に納める税金の一部 (上限額およそ2割) が納税先自治体に回り、目的指定の用途に使われるのです。
- ◇ Q: 控除を受けるにはどうしたら良いのでしょうか？  
 A: ふるさと納税をした翌年に、確定申告を行うか、確定申告不要の手続き (ふるさと納税ワンストップ特例制度) をして頂きます。

- ◇ Q: 具体的にどのようにして税が戻るのですか？  
 A: もし上限内で、30,000円の納税額なら、確定申告をした場合、控除の28,000円の内2割 (5,600円) が所得控除の減税として、8割 (22,400円) が住民税の控除として戻ってきます。ワンストップ特例制度をご利用の場合は28,000円が住民税から控除されます。  
 ※ 金額は目安です。

- ◇ Q: いろいろともっと詳しく知りたいのですが？  
 A: ネット検索しますとたくさんの説明ができます。そちらをご覧くださいれば有難いです。



総務省ふるさと納税ポータルサイトより  
[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/jichi\\_zeisei/czaisei/czaisei\\_seido/furusato/](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/furusato/)



## 2020年度札幌遠友夜学校記念館建設支援第1回「連続講座」より

# 新渡戸稲造と札幌農学校の教育<sup>1</sup>

山本慎平（北星学園大学短期大学部専任講師）

### はじめに

新渡戸稲造は1877（明治10）年に札幌農学校の第2期生として入学し1881年に卒業した。その後東京大学を経て、アメリカ・ドイツに留学し、1891（明治24）年に札幌農学校教授に着任した。札幌農学校教授時代の新渡戸は様々な活動をし、多忙な日々を送った。本会が後世に伝えていこうとしている遠友夜学校の設立もこの時期に当たる。本稿は、初期から中期にかけての札幌農学校の発展や苦境のなかで、教授として着任した新渡戸稲造がどのような教育活動を行ったかを描写したものである。第1章では新渡戸が学生として在籍していた初期の札幌農学校の歴史について俯瞰する。第2章では新渡戸が札幌農学校教授として赴任した時期の農学校の状況について、カリキュラムの改革や教員数・生徒数の推移をもとにみていく。ここでは、当時の教員数と生徒数から札幌農学校のST比を求めるといふ少し変わった試みも行ってみたい。これによって、新渡戸が教えていた時期の札幌農学校の状況が視覚化できる。第3章では、札幌農学校教授時代の新渡戸の活動について、農学校内外での様々な活動についてまとめた。

## 第1章 初期の札幌農学校—新渡戸の農学校入学—

### (1) 開拓使と開拓使仮学校

札幌農学校は明治初期に東京に設置された開拓使仮学校に始まる。1870（明治3）年に黒田清隆が北海道開拓使の開拓次官に就任した（1874年長官）。黒田は北海道を視察し、開拓事業のために外国技術を導入すること、その指導にあたる外国人を雇い入れること、技術習得のために海外留学生を派遣することなどを決めた。雇われ外国人技術者の過半数はアメリカ人で占められたので北海道開拓はアメリカを模範として進められることになる。そして、開拓に携わる人材を国内で養成することを目的に、1872年1月開拓使に仮学校を設置することが認められた<sup>2</sup>。

19箇条からなる「開拓使仮学校規則」の第1条には次のように記されている。

「此学校ノ儀ハ北海道開拓之為メニ設クルヲ以テ、是レヲ彼地ノ首府タル薩亭魯ニ建テ、彼地ニ住スル者ヲシテ専ラ知識ヲ増シオ芸ヲ進メ、是レヲ以テ開拓之資業トナサシメントノ本旨タリ。然レトモ其業日浅ク事ニ就ク序有リテ彼地ニ学校ヲ建ルノ暇アラサルヲ以テ先仮学校ヲ東京に設

<sup>1</sup> 本稿は2020年7月14日に行った「札幌遠友夜学校記念館建設支援連続講座」（愛生館サロン）での講演を基にしたものである。ご質問やご意見をいただいた方に感謝したい。

<sup>2</sup> 以下、特別に断りのない限り、基本的な出来事や年代、札幌農学校の学制等については『北大百二十五年史 通説編』第1部第1編第1章、第2章を参考にした。



ク」(北海道大学編著 (1981) p. 27)

この条文には、①この学校は北海道開拓のために、北海道の首府である札幌(薩摩)に建てること、②北海道の住民の知識を増し、才芸を進めて、開拓の資業とすることが目的であること、③だが札幌に学校を建てる準備がまだできていないので先に仮学校を東京に設置すること、が書かれている。この学校は札幌に校舎ができるまでのまさに仮の学校だった。

## (2) 札幌農学校の創設

1875(明治8)年7月仮学校は札幌学校と改称しその管轄は東京出張所より札幌本庁学務局へ移った。校舎は創成川の西側に位置した。札幌学校での授業科目は「英学・漢学・数学・習字」の4科目で、この時期はまだ基礎科目が教えられるのみであった。

札幌農学校は、もともと工業・鉱山・土木工学・農学の専門4学科を設置するとなっていた。しかし、開拓使顧問のホーレス・ケプロンは、全ての専門科設置のために教師を揃えるのは困難なので、まず農学専門学科を先につくり開拓の目的を果たし、さらに生徒の進歩を待ってから鉱工業の専門科を設置すべきと考えた。これは食料自給のために農業を発展させることが第一の急務だと考えていた黒田清隆の考えと一致し、農学科がまずつくられることとなった(北海道大学百二十五年史編集室編(2003) pp.13-14。以下、北大(2003)と略記)。

黒田は雇用する専門教師の人選を在米全権公使吉田清成に依頼した。そして、マサチューセッツ農科大学の学長ウィリアム・スミス・クラークが招聘される。ただしクラークは現職の学長で長期不在はできないため契約期間は1年であった。クラークと、アメリカ人教師ホイラーとペンハローの計3名は1876年の7月に札幌へ到着した。ホイラーとペンハローはクラークの教え子でまだ20代の青年であった。

専門科の開学を控えて札幌の学校では東京で新たに生徒を募集した。1876年に東京英語学校と東京開成学校の生徒たちに募集がかけられ、7月に東京に滞在していたクラークにより口頭試問形式の試験が行われた。このうち11名が入学しその中には後に札幌農学校に大きく貢献する佐藤昌介もいる。札幌にいた札幌学校の生徒と東京から来た生徒合わせて24名が札幌農学校第1期の入学生となった。1876年9月に札幌農学校と改称された。

表1を見てもわかるように、札幌農学校は単に農業教育機関としてだけでなく日本における高等教育機関としても最初期に設置された学校の一つといえる。日本語では札幌農「学校」と呼ばれているが、外国人教師はこの学校を Sapporo Agricultural College と表現していた。School ではなく College と認識していたのである。

カリキュラムは教頭クラークによって編成されたので、マサチューセッツ農科大学のカリキュラムと酷似していた。マサチューセッツ農科大学の理念は農業教育のみならず知育・徳育・体育といった全人的教

1876年9月	札幌農学校
1877年4月	東京大学(東京開成学校と東京医学校が合併)
1878年1月	駒場農学校(内務省)
1878年4月	工部大学校(工部省)

表1.明治初期の高等教育機関の設置  
(北大(2003) p.15より作成)



育を施すというものである。このことは初期の札幌農学校に独特の校風を植え付けることになった。札幌農学校は、当時の日本の高等教育機関、特に自然科学を専門とした駒場農学校や工部大学校と比較しても英語の比重が大きい。またその中に弁論・討論関係の科目が含まれるなど人文社会科学系科目が多い(北大(2003) p. 23)。また生徒の健康増進と有事の際に士官となる人材を育成する観点から兵学が置かれた。これもマサチューセッツ農科大学に倣ったものだが、あまり効果はあがらなかったらしい。

### (3) 札幌農学校の諸規則と施設

生徒は原則として官費生であった。修学年限は4年である。定員は1~4年生まで合計50人とされた。官費生には生活と学業に必要な一切が給与された。ただし卒業生は5年間の開拓使勤務の他、北海道への編籍が義務であった。私費生は、生活費学費として毎月10円を納める一方、開拓使勤務の義務はなかった。この頃の教員は日本人教師5名とクラークを含む外国人教師4名であった。

札幌農学校には本科(専門科)入学の予備教育機関として予科が併置されていた。予科の修学年限3年で、12歳以上である程度の国語力を有する事が入学資格であった。これは一般的な中等教育機関と大差ないものである。生徒の異動は激しく落第者も多かったようで、開校から1881年までの5年間に、予科を修了し本科に進学した生徒はわずか12名しかいなかったという(北大(2003) p. 20)。そのため81年からは修学年限が4年に延長された。

1878(明治11年頃までには主要な建物はほぼ整備された。北講堂や科学講堂、書庫、演舞場、観象台などが設けられた(写真1)。植物園や農園の設置も進んだ。また77年には国内初の洋風家畜房でホイラーの設計による模範家畜房(モデルバーン)が完成している。)

これらのいくつかは移転や改修がされつつも、多くの人が目にする札幌のランドマークとして現存している。例えば、札幌農学校の演舞場は時計台(写真2)として親しまれているし、植物園は現在の北海道大学植物園に引き継がれている。モデルバーンも重要文化財に指定され、北海道大学の敷地内に保存されている(写真3)。

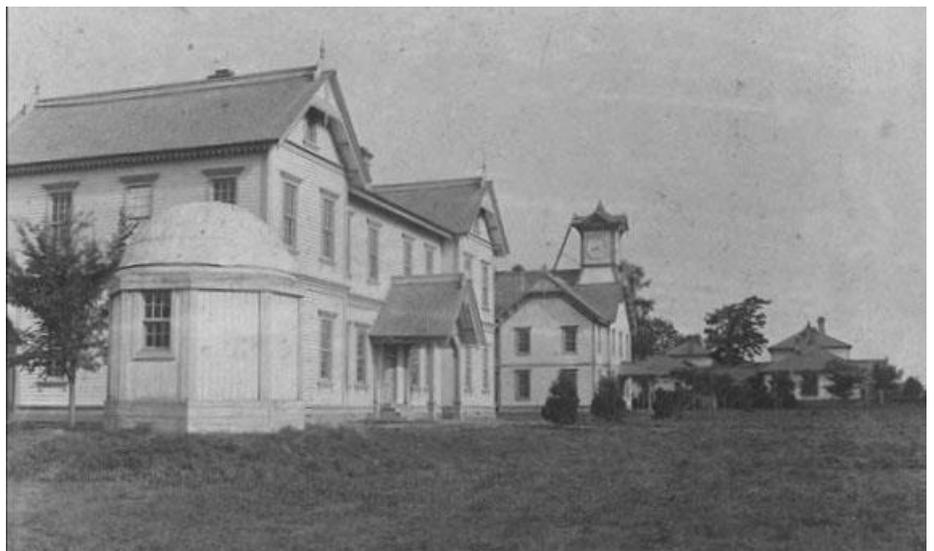


写真1. 北側より見た札幌農学校校舎(天文台、北講堂、演武場、寄宿舎) 明治23年頃(北海道大学附属図書館蔵)(国土交通省北海道開発局札幌開発建設部「開拓初期・暮らし・社会4【札幌開発建設部】治水100年」より)



写真 2. 時計台 (旧札幌農学校演武場)  
(2021年筆者撮影)



写真 3. 北海道大学農学部第2農場模範家畜房(モデルバーン) (2021年筆者撮影)

#### (4) 2期生以降の募集と新渡戸の農学校入学の動機

1877 (明治 10) 年に本科の第 2 期生が入学した。第 2 期生は主に東京大学予備門及び工部大学校予科から募集に応じた生徒であった。この中に太田 (新渡戸) 稲造、内村鑑三、宮部金吾などがいる。第 3 期生からは入学試験が行われている。この年で本科生は定員の 50 名にほぼ達したため翌 79 年の生徒募集は行われなかった。生徒募集は 80 年からは公募が原則となり当時の新聞に広告を出し募集を行った。

ここで、第 2 期生である新渡戸の農学校入学の動機について触れておきたい。新渡戸は、農学を志すきっかけについて「私が 13 歳から 14 歳になる間に起こった二つの事件が、私の生涯の仕事に関する考えの方向を、政治への軽率な野心と個人的栄光への憧れから引き離して、すっかり変えてしまった」(新渡戸 (1934) p.649) と回想している。新渡戸は幼いころは政治家か法律家になり、名を上げることを夢にしていたという。しかし、二つの事件がそれを変えた。一つ目の出来事は、新渡戸が東京英語学校の生徒であった時、そこで教えていた新教官西村貞から科学の重要性を説かれたことである。西村はある討論の場で、「科学、つまり化学、物理、天文等の自然科学が日本で最も欠けていること、西洋の卓越性はこの方面にあること」を指摘し、「この点で日本が遅れている限り、いかに日本の法律と政治をもってしても日本は西洋に勝ることはできない」(同上 p.650) と説いた。新渡戸はその晩興奮して眠れなかったという。そのように心が揺れている時期に起こった二つ目の出来事は、1876 (明治 9) 年に明治天皇が東北を巡幸した際、三本木の新渡戸家に宿泊し、「子々孫々克く農事に励めよ」とお言葉を与えたことである。

ちょうどそのころ、札幌農学校官費生募集のため堀誠太郎という役人が英語学校に来て募集の説明を行った。堀は、クラークが学長を務めていたマサチューセッツ農科大学を卒業した人物で、雄弁に札幌農学校の使命を語った。新渡戸はそれを聞いて次のように感銘を受けた。

「農学校という名にもかかわらず、その学校は農夫を送り出すことを目標としていなかった。その目的は若者を国家の行政機関の任務につけるよう訓練することにあつた。そうすることで、本州からの移住者を安定させ、新しい土地を開発し、新しい社会を造ることができる。その役人



の説明は、私の目指す新しい大望に、まさにぴったり合っていた。数理的の適合性は、入学の主要条件ではなかった。ここでこそ、私が求めていた知識が得られるのだ」(同上 p. 655)

このようにして、新渡戸は農学の道を志すことになる。

第2回の卒業式つまり新渡戸や内村の卒業式は1881(明治14)年7月9日に行われた。第3回の卒業式の時には開拓使は廃止されていた。そのため入学の際の誓約書は破棄され彼らは北海道以外にも自由に仕事を求めることができるようになった。以前の卒業生も同時に誓約書を破棄されたらしく、これによって新渡戸は東京大学に入学し、その後アメリカに留学することになる。

### (5) 札幌農学校不要論

1882(明治15)年開拓使は廃止され、北海道には新たに函館県、札幌県、根室県の三つの県が設置された。また国家レベルの事業については農商務省管轄の北海道事業管理局が行うことになった。いわゆる三県一局時代である。これに伴って、札幌農学校は農商務省の所管になる。この時期、札幌農学校は二つの課題を抱えていた。一つは応募者の急激な減少である。1882年は受験者28名で、合格者はたった3名であった。図1を見ると、三県一局時代に学生数が減少していることがわかる。この応募者の減少は開拓使廃止後の将来への不安も影響していた(北大(2003) p. 35)。もう一つの課題は、卒業生の北海道開拓への貢献が薄れてきたことである。82年以降、道内には42名中11名しか留まらなかった。これは、道内での就職先がまだ限られていたことも原因の一つとされている(同上)。卒業生の動向については後述する。

このような状況の中、伊藤博文の命を受けて北海道の調査に入った太政官大書記官金子堅太郎は「北海道三県巡視復命書」で、英米の植民地は農学校を設けなくても原野は日々耕地となり農産物の輸出額は増加していると指摘し、札幌農学校を「悉く高尚に過ぎ開拓の実に暗く「北海道に適せざるもの」と批判した。金子は、北海道開拓は土木事業を優先させ、学校建設は最後とすべきで、その学校も「実利勸業的」な実学を重視した教育や冬季のみの

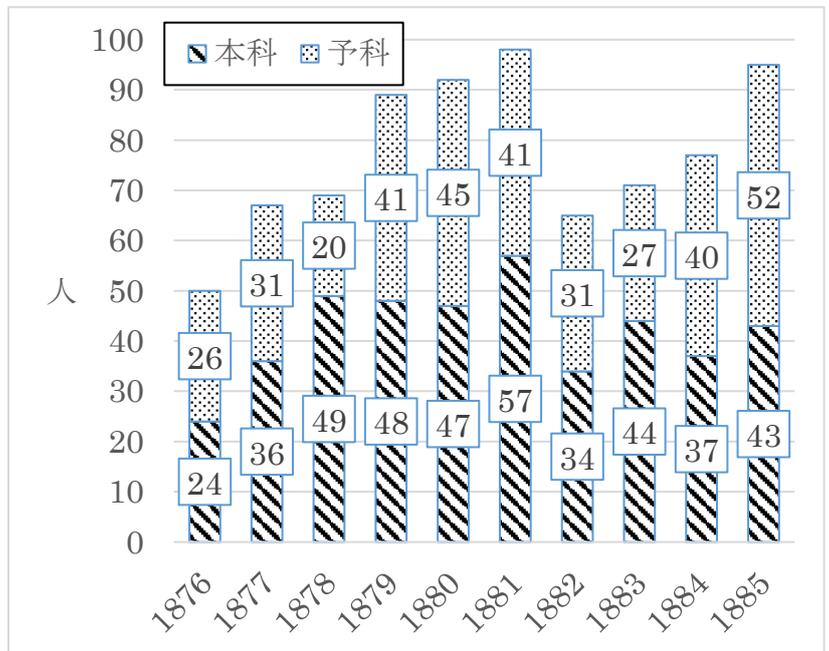


図1. 開拓使・農商務省管轄時代の札幌農学校学生数の推移 (北海道大学編著(1982) pp.131-138より作成)



学校が望ましいと進言した(北大(2003) p. 36)<sup>3</sup>。この金子の札幌農学校不要論は農学校関係者からは危機感を持って受け取られたであろう。一方で当時の札幌農学校が「高尚に過ぎ」という金子の指摘は、農学校がクラークの理念に沿った人文科学、教養を重視する学校であったことを示している。学問を迫及するという大学の理念と、その成果をもっと社会へ還元すべきという実社会からの要望との葛藤は現在の大学でもしばしば問題となるテーマである。

三県一局の制度は、それぞれの組織の連携などがうまくいかず、開拓としては失敗の時代だといわれている。金子の復命書もそのような見方をとっていた。そこで、1886年三県は廃止され、新たに北海道庁が設置された。そして、札幌農学校は北海道庁の管轄になる。

## 第2章 佐藤昌介の活躍と新渡戸の教授就任

### (1) 北海道庁の設置と佐藤昌介の意見書

1886(明治18)年北海道庁が設置される。初代長官は岩村通俊である。アメリカから帰国したばかりの佐藤昌介は1886年11月「米国農学校の景況及び札幌農学校組織改正の意見」を岩村長官に提出した。佐藤はアメリカで農政学や農業経済学を学び、1886年札幌農学校教授となり、1894年には札幌農学校校長に就任した。のち北海道帝国大学初代総長となり北海道大学の基礎を築いた人物である。この意見書で佐藤は、札幌農学校の存在意義を整理し、農学校が北海道開拓にいかに関与できるかを明らかにした。佐藤の意見書は、金子の札幌農学校不要論には反論しつつも、その批判は受け入れ、これまでの人文社会科学系の幅広い教養が重視されていたカリキュラムをより実践的な学科課程へと変更するものであった(北大(2003) p. 38)。

この意見書に沿って、1887年には「札幌農学校校則」が改正された。これによって、農学科・工学科が設置された。農学科は従来の本科よりも、科目がより専門に集中された。工学科は北海道の土木事業に従事する人材を育成するために新設された。両科とも修学年限は4年である。予科の修学年限は5年になり、尋常中学校とほぼ同様のものになった。また、農芸伝習科が設置された。農芸伝習科は、修業年限2年・定員50名で、学資が月5円支給された。この学科の目的は、西洋式農業に精通しそれを実地に使用する農業家を育成することであった。より実践重視の学科といえるだろう。さらに、1889年には屯田兵官の育成のために、兵学科が設置された。このような改正は、札幌農学校に期待されている開拓の役割を果たすことを明確にするためのものであった。

### (2) 日本人教師の育成と新渡戸の着任

当時、札幌農学校の日本人教授の年俸は1000円であったのに対し、外国人教師の年俸は2500円～3500円と高額であった。よって、日本人教師の育成が急務とされた。そこで農学校では1886年、助教の宮部金吾と渡瀬庄三郎をアメリカへ留学させ、87年には自費でアメリカに留学してい

<sup>3</sup> 金子の「北海道三県巡視復命書」は北海道大学北方資料データベースから閲覧することができる。この復命書は三県一局という制度全体の不備を指摘したもので、その一部として農学校への批判がある。



た太田（新渡戸）稲造を助教に採用しドイツへ留学させる。新渡戸が助教に採用され、ドイツ留学を許されたのには、札幌農学校側のこのような事情もあったのである。内国人教員の数は徐々に増え、1883（明治16）年以降は札幌農学校出身者が教官を独占するようになる（図2）。

1891（明治24）年に新渡戸稲造が教授として札幌農学校に着任した。ちょうどこの頃、農学校は経費削減を迫られていた。86～90年度に比べ91～92年度には決算額にして約1/3程度の減額がなされた。新渡戸が着任したのは農学校が財政的にも大変厳しい状況に置かれている時期だったのである。このような中、新渡戸は農学校のカリキュラム改革を行う校則改正委員会の委員長となり改革に着手する。この改革によって、普通学科の多くが予科に移され農学科はカリキュラムがより専門化されることになった。1894年9月から農学科3年以上の学生に農芸化学・植物病理・農業経済など6科目のいずれかを実験演習として受けさせることになった。この演習制度については後で再度触れる。

1893年にはさらなる予算削減が必要になった。ピークだった88年度に比べ半分以下の予算となった。教員不足を補うため予科1、2年が廃止された。ただしこのことは91、92年ごろから札幌区内に農学校予科入学のための私立予備教育施設として、新渡戸稲造や堀基らが設置した北鳴学校をはじめ、北海英語学校、敬業塾などができ、予科に代替できる教育機関が増えたことも一因である（北大（2003）p. 49）。1893年11月農学校は文部省に移管された。この機にも校則が大きく改正されている。

### (3) 札幌農学校拡張の時代

1898（明治31）年1月校長の佐藤昌介は「札幌農学校拡張意見書」を文部省に提出した。この中で佐藤は、農学校は北海道拓殖の進歩とともに拡張し、実業教育の振興に寄与すべきであるとして、予修科の設置、卒業生への学位授与、そして林学科、水産科、商業科、医学部の専門諸学科を新設することを提案した（北大（2003）p. 54）。本稿では、この拡大期については論じないが、1907年の東北帝国大学農科大学設置に至るまでに、商業科・医学部設置以外はほぼ実現することとなった。

### (4) 教員数と生徒数、卒業生の動向

ここで、札幌農学校の教員数と生徒数の推移を見ておきたい。次頁図3の棒グラフは札幌農学校の開校から1907年に東北帝国大学農科大学に改称するまでの総生徒数と総教員数の推移を表している。生徒数は1891年にピークを迎えた後、1897年まで減少傾向にある。ここには先に述べた予算削減の影響が読み取れる。1898年校長の佐藤昌介が「札幌農学校拡張意見書」を提出し、この後農学校は規模拡大の時代に入るが、このグラフからもそれが読み取れる。

この生徒数と教員数の推移から近年大学を評価する指標として使われているST比を求めたものが折れ線グラフである。ST比とは総学生数を総教員数で割ったもので、教員一人当たりの学生数を表している。一般的にこの値が高いほど教員は1人で多くの学生を受け持つことになるし、こ



の値が低いときめ細やかな教育が行えるとされている。

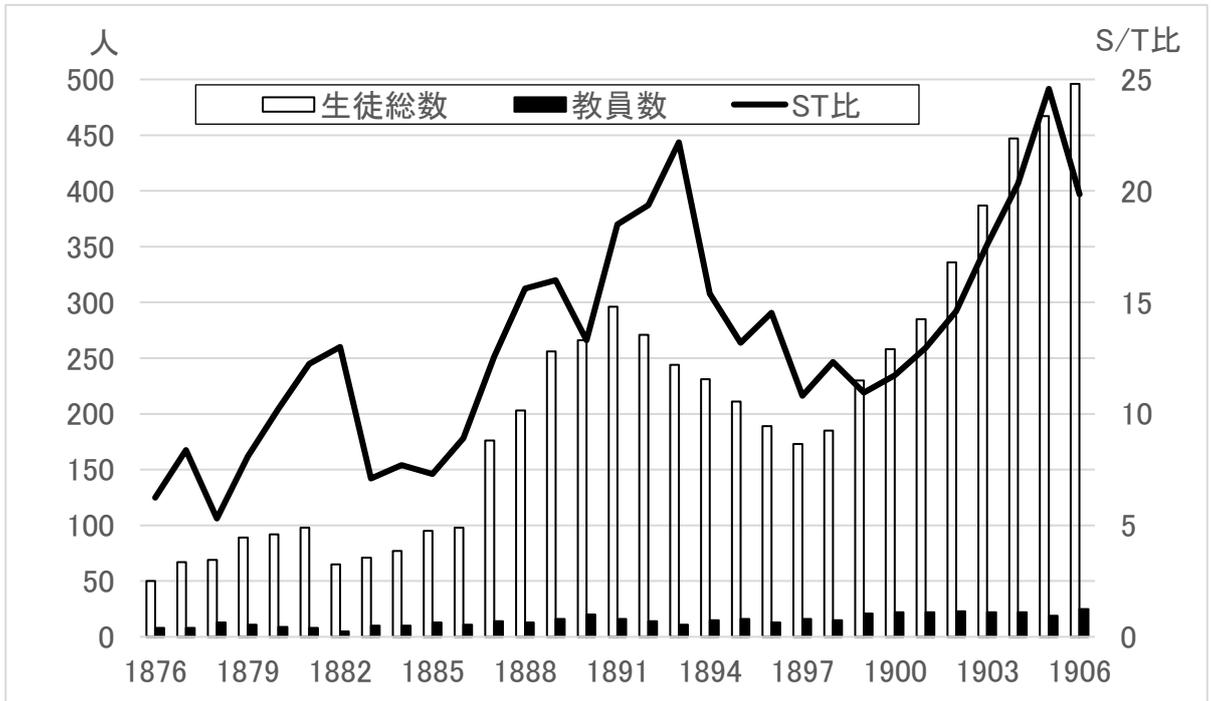


図3. 札幌農学校の生徒総数・教員数・ST比の推移 (『北大百年史 通説』pp.131-138より作成)  
\*ST比に嘱託教員は含めていない

ST比は札幌農学校が北海道庁の管轄下に入った1886年ごろから上昇し、1893年に最初のピークに達する。新渡戸が札幌農学校に着任したのは1891年である。このグラフから、新渡戸が着任した当時の農学校は少ない教員で多くの生徒を指導しなければならない大変な時期であったことがわかる。ST比は1900年以降の拡張期にも上がるが、このころからはST比に含まれない嘱託教員が雇われている。

続いて、卒業生の動向を見ておこう。初期1886～94年にかけて本科(農学科・工学科)の在學生は毎年平均55名程度で、卒業生は8名程度であった。北海道に留まっている卒業生は第1～9期生122名のうち22%程度であった。図4はもう少し期間の長い1880～1907年までの計398名の卒業生の在任地である。この期間でも道内にとどまっている卒業生は26%である。

図4で道外、道内の次に多いのは台湾であることにも注目したい。卒業生の一定数が台湾での植民地事業に貢

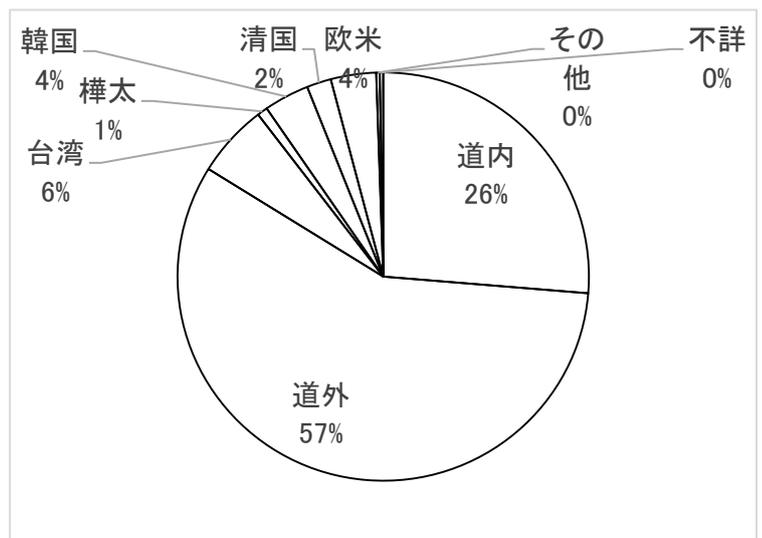


図4. 卒業生の在任地 (1880～1907年までの計398名)  
(北海道大学編著 (1982) p. 153より作成)



献していたのである。新渡戸は1897年に札幌を去り、その台湾の糖業産業の基礎を作るが、新渡戸は札幌農学校の卒業生に、台湾での拓殖事業を紹介していたという。佐藤昌介は農学校の意義を文部省に説明する際、北海道の植民地選定区画事業に従事した卒業生が台湾総督府で拓殖事業に従事していることや、道庁の水産課で水産調査に携わった卒業生が台湾でも水産調査主任となっていることも紹介した。卒業生の台湾での活躍は、農学校の有用性が認められ、佐藤の「拡張意見書」のとおり農学校が拡張してゆく一因となった(北大(2003) p. 59)。

次に就職先についてだが、就職先は期が下がるにつれて技師よりも中学校などの教員になるものが増加した。本科卒業生(農学科第11期生、工学科第3期生まで)の進路は149名のうち技師23名に対し校長・教員は56名で、特に第4期生以降は毎年ほぼ半数が教員になった。図5はより期間の長い1880～1907年までの計398名の卒業生の就職先である。

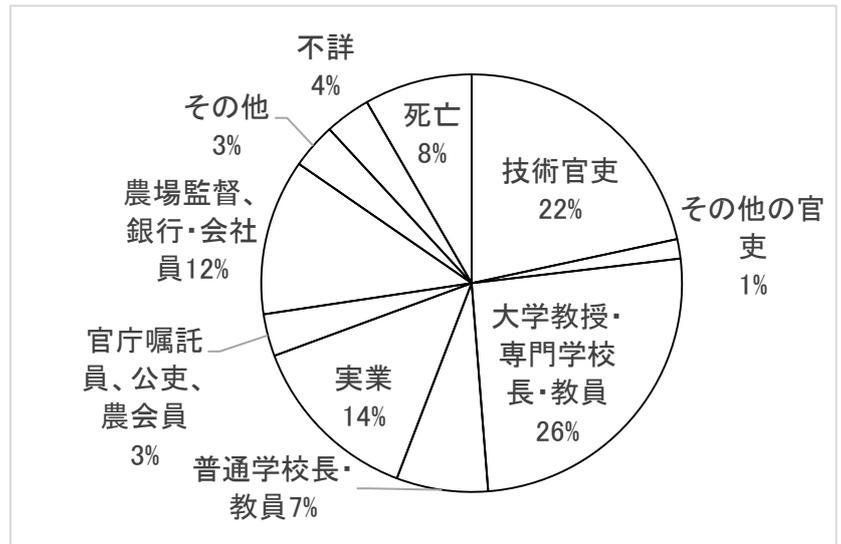


図5. 卒業生の就職先(1880～1907年までの計398名)  
(北海道大学編著(1982) p. 153より作成)

このように、卒業後に道外へ出る者が多かったこと、技師と

なるものが少なかったことは、北海道開拓に従事する人材を育てるという農学校の目的からみれば問題であり、道庁で卒業生を任用する際に優遇措置を設けるなど対策が取られた。

### 第3章 新渡戸の札幌農学校教授時代(1891～97)

#### (1) 農学校教授として

最後に、新渡戸の札幌農学校教授時代の活躍についてまとめる。この時期新渡戸は札幌農学校教授、北海道庁技師、北鳴学校教頭を務めたほか、遠友夜学校の創設、スミス女学校の支援など様々な活動を行っていた。ここではそのいくつかを紹介する。

先述のように、当時の札幌農学校は苦しい財政状況で、閉校の危機にあった。わずかの教授で予科・農学科・工学科を担当した。新渡戸が札幌農学校で担当した科目は、農学科の農政・植民・農史・農学総論・経済学・英文学・ドイツ語、予科の英語・倫理である。新渡戸はその他に、図書館主任・教務主任・舎監などの役職を担当した(三島(2020) p. 10)。教授時代の新渡戸の「講義振りは、音吐朗々、室の隅々にまで徹る声でユーモアをまじえ、ノートはなしに、西洋の名句を引用して面白く教えるので、生徒は知らず識らずひきこまれて学業に励む」(佐藤(1980) pp. 66-67)といったものであった。さらに「課外にはカーライルの『仏国革命史』や『衣服哲学』を講演



し、さらに、日曜は自宅で、英文聖書を二室に充満する学生に講義するなど、実に人格人材の修養陶冶に尽力した」(同上)といわれている。北海道大学大学文書館には新渡戸が教えていた経済学などの講義を学生が記録した受講ノートが保存されている。それらのノートによって新渡戸がどのような講義をしていたのかを明らかにすることが筆者の現在の関心である。

学制改革も新渡戸も重要な仕事であった。講義中心のカリキュラムを午前中は講義、午後は専門ごとの実験または演習に改革するものであった。校則改正委員会の委員長となり、改革案の作成の中心的役割を果たした。新しい学制は1894年から実施された。ちなみに、ドイツ語のSeminarを演習と訳し、大学教育に取り入れたのは日本では札幌農学校の農業経済学演習が最初である(三島(2020) p.11)。

## (2) その他の活動

札幌農学校教授となつてすぐに、札幌に中学校がないことを憂いた北海道鉄道株式会社の社長である堀基からの依頼で1891(明治24)年から1895年まで北鳴中学校の運営に携わることになる(石井(1935) p.158)。新渡戸は単に名前だけを貸していたのではなく、「この学校へも毎日一度は出校し、いろいろと指導監督をし、また、毎週全校生徒に修身談をして訓育につとめ、日記をつけることや、学資金、収支計画などの実務から、高きは靈的信念の涵養にいたるまで、親しく教えた」(佐藤(1980) p.68)という。そして、「毎週日を定めて面会日をもうけ、生徒に接しているような有益な話をするので、生徒は…居残ることも少なくなかった」(同上)。北鳴中学校は札幌農学校の予科の代わりに、北海道における中学校教育を担うことになる。

新渡戸は、スミス女学校(現北星学園)への支援も行った。スミス女学校は、アメリカ人宣教師サラ・C・スミスが1887(明治20)年に設立した学校である。新渡戸は、このスミス女学校の教育にも協力し、またスミス女学校が北星女学校へと改名する際、「北星」という名前を助言したといわれる(佐藤(1980) p.69)。北星女学校出身の河井道は「私が一四、五歳の頃、北海道札幌の母校北星女学校が北四条にあって、新渡戸邸の裏門が通り一つを隔てて学校に面していた。…奥様が病氣療養のため、米国にゆかれてから、先生は公務の済んだあとには私どもの学校に來られてワーズワースやゴールドスマスの名吟や、エリオット、ディケンズの物語を小さな校舎の一隅で数人の女学生に親切丁寧に教えられた」(河井(1936) p.96。一部改)と回想している。また、いうまでもなく、この時期の活動として遠友夜学校の設立がある。1894(明治27)年、新渡戸は学校に行けない貧しい子ども達のために、メリー夫人とともに札幌遠友夜学校を設立した。札幌農学校の学生ボランティアたちに支えられながらスタートした遠友夜学校は、50年にわたり継続した。

このように札幌農学校の内外で様々な活動をしていた新渡戸は、激務による体調不良により1898年に札幌を離れる。この療養中にアメリカで執筆したのが有名な英文『武士道』である。その後、後藤新平の誘いにより、1901(明治34)年から植民地台湾で糖業の育成に従事する。最後に、札幌農学校と台湾とのつながりに新渡戸が果たした役割について触れておきたい。台湾総督府は1898年ごろ既に11名程度の卒業生が赴任していた。1901年新渡戸稲造が台湾に赴任して以降、



特に積極的に農学校の卒業生を受け入れるようになる。『北大百年史』は、「札幌農学校と台湾がより密接に結びつけられたのは、新渡戸が台湾総督府技師となった1901年以後。その後総督府に職を得た卒業生は少なくない」（北海道大学編著（1982）p. 153）と評価している。札幌農学校を離れ、台湾へ行った後も農学校とのつながりは続いたのである。

## おわりに

本稿では、札幌農学校の歴史とその中での新渡戸の活動を追った。札幌農学校は、北海道開拓の方針にも影響され、規模や制度が刻々と変化していった。グラフでも確認したように、新渡戸が教授として教えた時期の農学校は、予算が削減され少ない教員で多くの生徒を指導しなければならなかった。また学制改革など解決すべき多くの問題があった。その中で新渡戸は、農学校の業務に加え学外でも様々な活動を行っていた。この頃の活動が、その後長く続く遠友夜学校や北星女学校などの教育の基礎になったのである。また、台湾へ行ったあとも、卒業生を受け入れるなど農学校との繋がりも続いたのであった。

## 【参考文献】

1. 石井満（1935）『新渡戸稲造伝』関谷書店
2. 河井道子（1936）「恩師新渡戸博士」（『新渡戸稲造全集』別巻、教文館1987年所収）
3. 北海道大学編著（1981）『北大百年史 札幌農学校資料（一）』株式会社ぎょうせい
4. 北海道大学編著（1982）『北大百年史 通説』株式会社ぎょうせい
5. 北海道大学百二十五年史編集室編（2003）『北大百二十五年史 通説編』北海道大学
6. 佐藤全弘（1980）『新渡戸稲造—生涯と思想』教文館
7. 新渡戸稲造（1934）『幼き日の思い出』（加藤武子訳『新渡戸稲造全集』第19巻、教文館1985年所収）
8. 三島徳三（2020）『新渡戸稲造のまなざし』北海道大学出版会
9. 国土交通省北海道開発局札幌開発建設部「開拓初期-暮らし・社会4【札幌開発建設部】治水100年」[https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/kasen\\_keikaku/e9fjd6000000081b.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/kasen_keikaku/e9fjd6000000081b.html)（2021年4月5日参照）



## 寄稿 1

## 新渡戸メリー夫人の人物像 ～誕生日時代から生涯をつらぬくもの～

三上 節子 (理事・運営委員)

## はじめに

新渡戸稲造夫人は片かな表記では、メリー夫人かメリー・エルキントン・ニトベ、英語表記では Mary Patterson Elkinton Nitobe、漢字表記では「新渡戸万里子」が今は多いかと思われる。ちなみに日本の役所の戸籍では「新渡戸万里」だと聞く。少し前の書物には「万里子夫人」、「満里子夫人」、「マリ子夫人」という記述もある。また、'Mary' の発音も地域によって微妙に違うようだ。これに関してある新渡戸研究者がメリーの故郷、フィラデルフィアに行ってその地の人々に 'Mary をどう発音するかと聞いたところ、「メアリ」ではなく「メリー」だったと記している。いずれ何といってもご家族がどう呼んでいるかが肝腎である。養女琴子さん、お孫さんの加藤武子さんが「メリー」と呼び、漢字では「万里子」と書いていることが最大の決め手とはならないだろうか。現在多くの研究者は「メリー」としているので、筆者もそれに従いたい。また漢字表記に関してはメリーが札幌遠友夜学校校長だった時の卒業証書に記された「校長 新渡戸万里子」、また、武子さんがメリーは万里の波濤を越えて日本にたどり着いたので「万里子」と名づけることにしたと稲造が語ったと『マイグランパ新渡戸稲造』で記していることも決め手となる。<sup>4</sup>

さて、本エッセイでは、メリーの生い立ち、稲造との出会い、生涯の貢献について手短かに紹介することを通して彼女が稲造をどのように支えてきたか、また日本への貢献について少し考えてみたいと思う。

### (1) メリーの子供時代、青年時代

さて、メリーの子供・青年時代を知るために、ジョセフ・パスモア・エルキントン (メリーの長弟ジョセフの長男) が史料を与え、ノース・カロライナ州ギルフォード大学英語教授兼同図書館司書だったドロシイ・ギルバートが書きまとめ編集した資料を見ることとする。これ以上に良い資料は残っていない。<sup>5</sup> エルキントン家の英国の先祖は分かっている範囲で、リチャード、ウィリアム、ジョセフ、ジョージと続くが、青年ジョージはアメリカ移住を考え、年季奉公の契約書に署名をしてデラウェア川沿いの村に 1677 年 8 月 14 日にたどり着いた。鍛冶屋の生業の傍ら付近の人々をよく助けたそうである。ジョージはアメリカの友会徒の中で最もすぐれた指導者の一人で詩人でもあったジョン・ウールマン (1720~79) の祖父と親しく、メリー夫人と彼女の両親、また稲造もジョン・ウールマンの敬虔さと博愛の行動を尊敬している。時代は流れ、石鹼とロウソクの製造

<sup>4</sup> 加藤武子『マイグランパ新渡戸稲造』株式会社朝日出版社、2014年、5頁。

<sup>5</sup> ドロシイ・ギルバート、ジョセフ・パスモア・エルキントン編、加藤武子訳「新渡戸稲造博士とメリー・P・E・ニトベ (上)『新渡戸稲造研究』創刊号、新渡戸基金、1992年。



(現フィラデルフィア・クォーツ・コーポレーションの前身)<sup>6</sup>を生業としながら、先住民族の教育・職業訓練・宗教伝道活動に尽した祖父ジョセフ・エルキントンと先住民族の女学校教師であった祖母メリー・エルキントンの間にフィラデルフィアで生まれたのが、メリーの父ジョセフ・スコットン・エルキントン(1830年生)である。彼は友会(フレンド派、クエーカー派とも言う)のウェスタウンスクールでの型にはまった学業の形態や学則に恭順するタイプではなく、神への信頼は強いのであるが自由で活発に活動するタイプであったため途中で退学し、親の生業を受け継ぎながら父親と同じように先住民族の学校教育と福祉のために誠心誠意尽力した。彼は敬虔な友会徒のオハイオ州生まれの美しいマリнда・パタソン嬢と結婚し、メリーが生まれる。そのころ、父ジョセフは孤児院から両親を病気で亡くした孤児の14, 5才の女の子を自宅に引き取り、家族同様に育てた。その女性はメリーの乳母役となったり、家事やクエーカー帽の制作などで得た給料を貯めておき、生前に自分の財産はメリーにという遺言を書いていた。1894年1月遠友夜学校は狭い場所ですでに始まっていたが、翌年7月頃、その女性の遺産が札幌のメリー夫人に届いたことで、道路を挟んで向かいの古い家付きの広い土地(現新渡戸稲造記念公園、札幌市中央区南4条東4丁目)が買えたのであった。メリーは先祖のジョージがアメリカの土を踏んだ180年後の1857年のその日8月14日に、アメリカの友会徒の7代目として生まれた。メリーの名前はメリーの生まれる3ヶ月前に亡くなった母マリダの姉を記念してメリー・パタソンと名づけられたということである。これまでの資料考察から新渡戸夫人の先祖たちは、肉体的精神的に剛健で、家庭を明るく守り、実直、公益事業に高い関心を持ち、実践的知恵と個人尊重の考えを実行に移そうとする気迫に満ちた人々であったことがわかる。

長女のメリーには弟たち、ジョセフ、ウィリアム・ティルマン、アルフレッド・コープ、トーマスの4人が生まれるが、トーマスは7ヶ月で夭折している。それはもしかすると新渡戸夫妻8日で夭折した愛児の名前がトーマス(遠益)だったことと関係があるのかもしれない。ここで重要なことは長弟ジョセフが、『新渡戸稲造全集』第23巻の『エルキントン家宛書簡』で見られるように、稲造と何度も書簡を交わし、稲造とメリーの日本での働きに高い関心を持ち多くの励ましを送り、アメリカの友会徒を中心とする友人達との交流と支援の窓口ともなって稲造夫妻を応援することになる。ジョセフは来日もしている。

メリーの幼少期にアメリカ南北戦争(1861~65)があり、父親はまだ良心的兵役拒否の法律がない時代であったが、陸軍長官に手紙を書いて兵役拒否の許可を得たり、戦時下で工場が稼働できなくて税金が払えなくなった時に、法律を作ってもらうために国会議員に訴えたりした。また戦後、仕事と同様に熱心に人道的精神をもって黒人学校や精神病院、刑務所、救貧院、養老院などを訪れ、講話をしたり支援をしたり、また晩年はドッホボール派(ロシアで栄えたキリスト教の一派で人間の絶対平等、平和主義を主張し、徴兵拒否をしたため激しく迫害された。トルストイの援助で1898年大挙カナダに移住)にも共鳴していたそうである。母のマリダは家庭を守

<sup>6</sup> 1931年までメリーの次弟ウィリアムがPhiladelphia Quartz Companyの社長、長弟ジョセフの長男ジョセフは同社の取締役・副社長(1917-51)。二人とも慈善活動と友会の宗教活動に多大な貢献。新渡戸夫妻の理解者・支援者。



り、いつ夫がどんなお客を連れてきても歓迎できるように接待の準備をしていたそうである。この習慣はメリーにも受け継がれたと思われる。

メリーは父親のコスモポリタンの姿勢から学ぶところがあったほか、5才8ヶ月からクエーカーの小学校、父親と同じ厳格なウェスタウン寄宿中学校で1年間、そしてフレンド・セレクト・スクールで2年間正規の課程と平行して、ラテン語とフランス語も学び、文学会にも属し、賞を取ったこともある。彼女は17才6ヶ月まで学んだ後、卒業と同時に教師補佐として短い期間だがウェスタウン学校でウェイランド『知的哲学』、クワッケンボス『修辞学』、ミッチェル『世界地理』、ウィルソン『世界史』、ブラウン『文法』などを教えた。ここから分かることだが、稲造が東京で南部藩の藩校共徳義塾で教わった教科書とほぼ同じだったことも当時アメリカの教育システムが多く日本に導入されていたことを物語って興味深い。

メリーは短期間教師補佐をした後は、18才から33歳まで健康が衰えて家事が充分できない母親の代わりに家事に専念し、海外からまで人種、職業を問わず絶え間なくやってくる父親の来客を温かく持てなし、父親の人道的奉仕を後ろから支えた。これは、稲造が札幌農学校教授時代、地方出張の折りに乗り合い馬車などで身売りされた娘達に出くわした時など、買い戻し自宅に住まわせて教育をし、仕事先の世話もしたことがしばしばあったそうだが、その時に身の回りや家事の教育を授けたのはメリー夫人であったわけで、アメリカでそういう訓練や経験があったのでテキパキとできたのであろう。また東京ではさらに一高校長や東大教授時代に自宅に間断なく相談事で訪ねてくる人々、新渡戸家を会場とする郷土会という民俗学の研究会などに来る青年たち、外国の要人、例えばアメリカの教育学者ジョン・デューイ(1859~1952)といった人々などをいつでも温かく迎え入れ、茶菓の振る舞いや場合によっては食事や宿を提供することも使命感をもって難なくこなし、内助の功に繋がったのであろう。この頃メリーは、1882年フィラデルフィアで発足した友会婦人外国伝道協会の熱心なメンバーとしても活動していた。

## (2) 稲造との出会いと結婚生活

1885年6月稲造がジョンズ・ホプキンス大学在学中、ボルティモアの友会の教会に通っていたのだが、フィラデルフィアの友会婦人外国伝道協会の集まりにアマースト大学留学中の内村鑑三とともに招かれ、意見を求められ、2人が日本での宣教活動には女子教育が重要と主張したことで、1886年に宣教師夫妻が派遣され普連土女学校と友会の教会が設立されたという経緯があった。その翌年稲造は友会の熱心な信者で親日家のモリス夫妻宅での婦人会に招かれ日本について聞きたいとの申し出があった。稲造は定期的に日本の新聞にアメリカ人の生活について記事を書いて送っていたのだが、今回はアメリカの婦人の地位について書かなければならないと話したところ、29才になっていたメリーもその会に同席していて、私が書きましようかと申し出たとのことである。メリーは後に、親友のアナ・チェース(合衆国上院議員ジョナサン・チェースの娘。同家も篤信有力な友会信徒)に「彼が話すのを聞いていると、あの人なら自分の生涯の仕事が何処にあるか教えて下さるといふ思いが湧くのです」<sup>7</sup>と語ったという。つまり、メリーは稲造が将来非常

<sup>7</sup> ドロシイ・ギルバート、J・パスモア・エルキントン編、加藤武子訳、前掲書、216頁。



に重要な仕事をする人になるということを見抜き、自分がその働きを支える人になるのが天命だと気づいたということである。

稲造もインスピレーションを感じたのであろう。数日後にモリス夫人にエルキントン嬢との文通の許しを乞う手紙を書き、モリス夫人は直接メリーに手紙を書くことを勧めたという。ここに稲造の礼儀正しい紳士さが感じられるし、メリーもそういう稲造の態度に信頼が増したと言えよう。稲造の3年間のドイツ留学中にお互いに結婚を決意し、アメリカに帰ってメリーの父親に結婚の許可を求めたが、許可が下りなかった。それまでも色々な男性が父親にメリーとの結婚を申し入れたがメリーの相手には不十分として承服しなかったのだが、稲造に対しては人格的才能的理由からではなく、生活習慣が違う国に送り出すことに不安や心配があったからであろう。友会の結婚は所属する月会の同意を得なければならなかった。最初、弟たちと、モリス夫妻と親日家のスカル家のみが賛成でメリーの両親のほか教会の主な人々も反対であった。2ヶ月の間に二人の決意の固さに賛成に回る人々が増え、12月25日のクリスマスに開かれた月会の3度目の事務会でやっと結婚が許可された。1891年1月1日稲造29才、メリー33才でメリーの所属するフィラデルフィア・アーチストリート月会の教会堂で結婚式を執り行うことができた。参列者はメリー側からは両親以外の175人で、稲造側からはハリス宣教師夫人と二人の友人だけであった。地元新聞『フィラデルフィア・インクワイヤラー』紙に「フィラデルフィアの名家エルキントン家の令嬢メリーは、すぐれた青年とはいえ、一日本人と結婚した」<sup>8</sup>と書かれ、全米に大きなセンセーションを起こしたそうである。

### （3）日本への貢献

これからは、紙幅の都合もあり、筆者がこれだけは読者に伝えたいことを箇条書きで申し上げたい。

- （1） 教育の機会の恵まれない子供達のための夜学校の創設は稲造のアメリカ留学中に抱いた札幌市民学園構想の1項目でもあったが、メリーも以前から恵まれない子供達のための思いがあり、愛児の夭折を機にその思いが強まり早くその具体化を願ったことが稲造の「義弟ジョセフ宛て書簡」1892年4月21日付に記されている。
- （2） 1903年札幌農学校が札幌市時計台周辺から現在の北海道大学の場所に移転したことを記念して7年間夫と共に過ごした札幌農学校への愛情と感謝を込めてハルニレ（エルム）の苗木24本を1905年春に寄贈した。宮部金吾博士が主導して細心の注意の下、路傍樹として構内に植樹された。夫人独自の着想で学生、教職員への敬愛が形となって現代にまで貫かれている。
- （3） 稲造夫妻は愛児を亡くしてから姉河野喜佐の次男孝夫（よしお）（1892-1935）を1896、7年頃から札幌で養子として育て、渡米の折に伴いメリー夫人の実家から小学校～大学まで通わせた。また姉安村峯の孫琴子（1890-1985）を1905年東京で養女にして育てた。孝夫はクエーカー主義のハヴァフォード大学に、琴子は津田梅子の女子英学塾に進む。孝夫、琴子が結婚した後、しばらくして琴子と誠、武子という2人の孫もスイスのジュネーヴにまでついていき

<sup>8</sup> 松隈俊子『新渡戸稲造』みすず書房、1982年、166～8頁、柴崎由紀『新渡戸稲造ものがたり』銀の鈴社、2012年、81-3頁。



一緒に生活した。メリーは多忙の中で2人の子供、2人の孫を育てたという愛情深い母、祖母の一面も見逃せない。これもアメリカ時代に長女としての経験、来客の持てなしの経験が効を奏したということであろうか。

- (4) 稲造が札幌農学校教授時代に自宅でのバイブルクラスには二つの部屋がいっぱいになることも、また自宅での英文学の学習会ではメリーが発音を教えたりした。また隣接のスミス(北星)女学校の生徒達と英語で会話をしたり、特に河井道は自宅で英会話を学んだ。有島武郎は1年間新渡戸宅に下宿しながら英語などを、東京でも有島武郎、鶴見祐輔などが英会話を学びに自宅に来ている。内村鑑三の *HOW I BECAME A CHRISTIAN* (『余は如何にして基督信徒となりし乎』) の第2版の英文校正もしている。<sup>9</sup>
- (5) 1913(大正2)年5月1日、稲造の第一高等学校校長辞任の晩餐会を8時半に終えて全生徒が校門まで送った後、有志5,600人(当時の全校生は1千人)が雨上がりの夜小石川の御宅まで稲造と共に歩いた。何も知らない夫人は驚き喜んで夫と共に玄関に立った。矢内原は「夫人は先生の良友であり、且つ一高生を心より愛し認められて居る。夫人が直接間接に我々を愛せられた」<sup>10</sup>と夫人を讃美している。送別の歌の後、代表者が涙ながらの挨拶、全員泣き続けた。二つの花籠を贈呈、夫人と稲造の涙ながらの挨拶、万歳三唱、3分間黙祷あり。この時に夫人も挨拶したのだが当時の日本女性にはなかなかできない作法である。メリーにはクエーカー的男女同権の思想が身についている。また稲造自身がその推進者であり実行者であった。メリーは贈り物のツツジの生花を挿し木して翌年花を咲かせ、稲造に託して満開のツツジの鉢植えを学生の会に持たせたという。以後その会はアゼリア会(ツツジの英語名)と名づけられた。ここにメリーの植物愛と学生愛を見ることができる。
- (6) 稲造が1933(昭和8)年客死後、メリーは稲造の英文の遺稿を収集整理し、*Reminiscences of Childhood*(『幼き日の思い出』)(研究社、1934年)には「謝辞」、「端書き」、[エピローグ]を、*Lectures on Japan*(『日本文化の講義』)(丸善、1936年)には「序文」を付け、稲造の教え子たちからノウハウを教わって日本で出版にこぎつけた。彼女の文章は、生涯読書を絶やさず、また家族、友人のみならず海外の新渡戸と親しかった文化人たちに手紙を書くなどで文字に親しんでいたため、また若き日からの文才も効を奏し、新渡戸家と夫への尊敬と愛情、日本と世界の平和への思いが溢れ出た格調高い文章となっている。
- (7) 1915(大正4)年メリーはバーネット大佐夫人と共に日本動物愛護協会の前身、日本人道会(The Japan Humane Society)の創設者であり、長年その理事長であった。<sup>11</sup>また、日本YWCA(日本キリスト教女子青年会)の議長を数年(1914~1917)務めている。<sup>12</sup>メリーは日本語

<sup>9</sup> 内村鑑三『内村鑑三日記書簡全集』第5巻、289-96頁。稲造宛英文封書3通で夫人に校正依頼と感謝を記している。

<sup>10</sup> 矢内原忠雄『余の尊敬する人物』岩波新書、1962年、205-13頁。

<sup>11</sup> *The Japan Advertiser*, September, 24, 1938. スワスモア大学歴史図書館所蔵。東海林克彦「広井辰太郎(元東洋大学教授)の動物愛護思想に関する環境倫理的考察」『観光学研究』第8号、2009年3月、東洋大学国際地域学部、97頁。

<sup>12</sup> *The Japan Advertiser*, September, 24, 1938. 影山礼子「昭和戦前期のキリスト教社会・キャリア教育の一側面?東京YWCA機関紙『地の塩』の書誌分析」『関東学院教養論集』(21)2011年、31頁。



はほとんど話せなかったが、また多くの時間を家庭で過ごしたが、日本を広い見地から愛し、日本社会を指導する一人でもあった。

(8) 養女琴子さんは、父稲造は妻メリーなしでは彼の仕事の多くは充分には出来なかったはず、メリーは彼の才能を見抜き、敬愛し支えた人だと語る。教え子の河井道もメリーはアメリカ人が言うところのベターハーフであったと、また世界の人々を兄弟姉妹と見なす女性に出会ったことが稲造の人生にとって重大だったと、また世界の多くの国が晩年日本を悪く言ったことで彼女は苦しんだとも語る。<sup>13</sup>

(9) 1938年9月23日軽井沢で死去、26日普連土女学校にて葬儀が執り行われ会葬者は数百人、その中に稲造の教え子たちはもちろんのこと国内外の宗教政財界人、教育・諸団体関係の数百人の名前が *Japan Advertiser* (日本発行の英字新聞9月27日付) に書かれている。その中にはグルー駐日大使、社会改良家の賀川豊彦、作曲家山田耕筰の姉で婦人参政権運動家のガントレット・恒、貴族院で物理学者の田中館愛橘、東京女子大学学長安井哲、津田英学塾学長の星野あいなどがいる。

### おわりに

以上ささやかな考察ではあるが、メリーは生を受けた家庭の先祖からの伝統であった、友会(クエーカー教会、フレンド派)の中心的精神である神への敬虔さ、人間の平等、博愛精神、社会正義の実践、学問・教養の社会への還元といったことを子供の頃から見聞きし、身につけて稲造と結婚した賢夫人といえよう。稲造から家族の歴史や彼の子供時代、学生時代のことを克明に知った上で『幼き日の思い出』の「はしがき」を書いている。メリーはまたとない稲造の理解

者、励まし手、助け手、導き手、つまりは母であり、妻であり、友人という、とてつもなく大きく慈愛に富む女性という人物像が浮かぶのである。

(新渡戸稲造研究家)



← 1909 明治 42) 年  
新渡戸夫妻来札記念  
(岡田花園)  
後列左二人目より  
宮部金吾・新渡戸・  
南鷹次郎  
前列左より南・  
新渡戸・宮部各夫人  
(北大大学文書館所蔵)



→ 1905 年  
北大に寄贈した  
エルムの大木と  
説明版  
(筆者撮影)

<sup>13</sup> *The Japan Advertiser*, September, 27, 1938.



## 寄稿2

### 人と人との出会いについて

～ 佐藤昌介、新渡戸稲造、そして私・・・～

後呂 道德 (うしろみちのり) (運営委員) 73歳

#### － その1 －

新渡戸稲造先生との出会いは、平成7年5月31日に花巻市で「北海道東北地方知事会議」が開催され、北海道副知事に随行して出席しました。翌日は、花巻新渡戸記念館と宮沢賢治記念館の視察があり、そこで新渡戸先生の関係資料を頂くとともに関係書籍を購入して、その足で近くにある阿弥陀如来像を拝し、花巻空港から千歳空港の帰路に着きました。あれから26年が経過していますが、この間、花巻市で購入した書籍『新渡戸稲造の生涯』(須知徳平著)や、『武士道』(奈良本辰也訳・解説、三笠書房発行)、『ほっかいどう百年物語』(編者STVラジオ、絶版)、石狩市民カレッジなどで学習してきました。平成7年から数年後のある日、北大で「新渡戸先生関係の講演会」があり、質問時間の時に、浅学非才にもかかわらず質問をさせていただきました。この時、滝川市長の林芳男氏も出席されていました。(私は、滝川市四代目で、子供の時から物怖じしない性格で、人との会話・交流をとおして、人と人との出会いを大切にして、感謝して生きて参りました。しかし、未だに欠点だらけですが・・・)

その後、「第一回稲造サミット」が札幌市内で開催されました。御挨拶、寺島実郎氏の講演、紙芝居など、休憩時間に名刺交換が有りました。北星学園理事長 大山綱夫氏は、自ら回りながら挨拶をしてくださいました。お会いした方は、新潟食料農業大学本間茂氏、道庁OB大橋香氏、山崎晋氏、加藤博志氏、恵迪寮同窓会佐藤市雄氏、北星学園キリスト教センター島田久美子さんなどです。講演会終了後、立食パーティーが有り、思い切って参加することにしました。お会いした方は、(財)新渡戸基金理事長 藤井茂氏、北大名誉教授 三島徳三氏、(社)札幌農学同窓会理事長 松井博和氏、(財)秋山記念生命科学振興財団理事長 秋山孝二氏、北大総長補佐 ミシェルさん、(社)美友希保育園代表理事 渡邊淑子さんなどです。たまたま隣におられた、松井博和氏と話す機会があり、ルーツの話題となり、同じ三重県であることが分かりました。それ以来今日まで交友関係が続いています。三重県御浜町出身の曾祖父後呂五郎松との縁に感謝しております。さて、現在、私は石狩市に在住しており、「石狩市民カレッジ」の学生です。その間に、北大名誉教授 藤田正一先生・北大名誉教授 三島徳三先生による「新渡戸稲造先生の講座」が有り受講してきました。石狩市民カレッジでは、この他に 黒



第一回稲造サミット・札幌 2017年11月25日  
於：プリンスホテルパミール館 280名参加



田清隆氏、榎本武揚氏、クラーク先生、エドウィン・ダン氏、北海道開拓使、北海道長官、アイヌ文化、石狩遺産、地震関係などの講座も受講してきました。昨年2020年初めに、90講座受講の修了証書を頂きました。本来ならば、市役所で学長（加藤龍幸石狩市長）から直接頂けるのですが、コロナの関係で郵送伝達になりました。因みに、石狩市は、カナダバンクーバー島のキャンベルリバー市と、鮭の縁で姉妹都市提携、今年38周年です。鮭の縁は、北大水産学部の教官の推薦とか。平成5年・1993年8月に、10周年記念事業がキャンベルリバー市で開催。フェリーでバンクーバー島に渡り、当市で、レセプションパーティー、カナダ王室騎馬警察ショー、記念式典・歓迎レセプションなど。その後、州都ヴィクトリアに行きブッチャートガーデンを見学、英国ヴィクトリア王朝風の重厚な州議事堂の夜景は大変素晴らしいものでした。（昭和8年・1933年8月、新渡戸先生は、太平洋問題調査会のカナダのバンフ会議に出席、9月、ヴィクトリア市のロイヤル・ジュビリー病院入院、10月15日（日本時間10月16日）昇天、71歳2ヶ月の生涯でした。東京の青山斎場での告別式の葬儀委員長は佐藤昌介先生でした。）

昨年春、三島徳三先生から、著作の『新渡戸稲造のまなざし』北大出版会発行の案内があり、早速4月に購入しました。かつて、道庁農務部農業構造改善課や阿寒町役場派遣で助役代行を務めさせていただきました。少しですが、農業行政を担当しましたので、三島先生の農業部門の内容は興味深く拝読致しました。北海道農業には、アメリカ農法、ドイツ農法、デンマーク農法が混在しているようですね。道庁農務部勤務時には、「部内に図書室」があり新渡戸先生の『農業本論』も棚に置かれており、色々な農業関係の本を図書室で読んでいました。（妻の父佐藤義孝も、かつて道庁農務部農政課長を拝命し、獣医師資格者です。義父の祖父母、父佐藤伸昭は明治時代に「秋田県横手市浅舞」から留寿都村に入植しました。）

私、農務部農業構造改善課時には、農地開発部の「農村総合モデル事業」のソフト部分も担当させていただきました。農業改善センター、農村公園などです。北大農学部の教官と私と2人で市町村役場に入り、採択への相談にのる業務でした。ご承知のとおり、北海道には農水省出先の地方農政局がないので、直接農水省担当官とのヒアリングになります。本来業務で思い出に残る仕事と言えば、農業構造改善事業の広域農業です。

「十勝農協連による酪農情報システム事業」で、十勝管内全域の酪農家へ



米国留学中の稲造（左）と昌介（右）  
（1886年6年ボルティモアにて）



農業経済学ゼミナールの  
始まりの頃（1895年4月）

（2枚とも北大大学文書館所蔵）



の飼育電算情報システムによる強化策です。日本で初めてのケースで、農水省のモデル事業のため大蔵省から資料要求があり、当時はやりの、ファックスで夜中に農水省に報告した記憶があります。少しですが、十勝管内の農業振興のお手伝いできたことを嬉しく思っています。

話し変わりますが、三島先生の本『新渡戸稲造のまなざし』の末尾の本紹介の中に 佐藤昌彦著『佐藤昌介とその時代』(増補・復刊)を見つけて、早速5月11日に北大出版会から購入。佐藤昌介先生に関心があるのは、理由(わけ)があります。私のルーツは五つの県で、祖父母、曾祖父母が、徳島県・三重県・石川県・富山県・山形県から滝川市を中心に明治時代に入植しました。父方の祖父 岸孫三郎(後呂)は、明治30年頃6歳で徳島県石井町から滝川に入植。曾祖父岸芳蔵・曾祖母稲田カツで、稲田家は代々徳島藩筆頭家老の一族で、稲田カツの先祖も、初代稲田植元公(たねもと)。たねもと公は脇城代で脇町(現在、美馬市)に楽市楽座を採用して藍を中心とした「うだつの町並み」の産業振興、まちおこしを展開し、1628年亡。稲田家家臣団は脇と洲本に分散し、息子には淡路島 洲本城代を務めさせています。私、昨年2020年4月、何となく「稲田植元」をネットで検索していると、佐藤昌介先生の妻は、稲田ヤウで 稲田家16代当主稲田邦植の妹 と判明。びっくりして、松井博和先生に報告。佐藤昌介家と稲田ヤウ家は、南部藩と徳島藩。徳島藩は約25万石、藩主は蜂須賀家、しかし筆頭家老稲田家は村上源氏(村上天皇の孫が祖)の系統、尊王。明治3年稲田騒動、明治4年余儀なく稲田家旧家臣団は北海道静内町(現在、新ひだか町)に546人移住。移住の条件などで「士族」となる。刀を鍬に変えて辛苦の連続の開墾(ネットで検索してみてください)。一方、佐藤家では、佐藤昌介先生の父佐藤昌蔵は旧幕府の南部藩士で余儀なく隠居。14歳の昌介は佐藤家の家督を継ぐという重い負担。家計も楽ではありませんでした。明治3年、父親は明治政府から許しを得て花巻から盛岡に移住。このような「明治維新の急転」が昌介を自立に導かせ、勉強で身を立てようと志すきっかけとなりました(出典、『ほっかいどう百年物語』167ページから)。このような明治新政府の荒波の中で、南部藩佐藤家と通称稲田藩稲田家(14000石)は辛苦の荒波を超えながら婚姻関係になったものと思います。佐藤昌介家の家族関係については、後程お話し致します。

佐藤昌介先生は「北大育ての親」と言われていますが、新渡戸稲造先生を「国際人」にまでにした基礎は、6歳年上の昌介先生に負うところが大きいと思います。主な点は、①アメリカ アレガネー大学から自分の在学のジョンズ・ホプキンス大学への転学を勧めた。②札幌農学校教授の佐藤昌介は、稲造を助教授としてドイツに公費留学。③東京女子大学初代学長に稲造を推薦した一人。④ジョンズ・ホプキンス大学の学友ウイルソン大統領が提案して創設される国際連盟の事務次長に稲造就任(人と人との縁、①関連)。

話しをもどしまして、私なりに、佐藤昌介家の系譜などについて触れてみます(出典は、ネット、『佐藤昌介とその時代』、『佐藤昌介没後80年記念誌』より)。佐藤昌介家のルーツは、秋田県横手城藩士、小野寺城主は関ヶ原合戦で西軍につき敗戦。そのため佐藤家は南部藩花巻城に移住。このような出来事がなければ、1600年代に佐藤家と新渡戸家が花巻で出会うこともなかったかと思われます。**1** 佐藤昌介の父は、佐藤昌蔵で衆議院議員、落ち着いて物事に動じなく、役人としては清廉であり、人格的には人情にあつく誠実でありました。早くから「陽明学」になじみ、



中江藤樹・熊沢蕃山に私淑し、晩年はキリスト教に帰依しました。母はキン(昌介7歳時に他界) 義母キヨ。兄弟たち・昌介と女性など。 [2] 佐藤昌介 札幌農学校校長、北大初代総長、昭和14.6.5 昇天・満82歳、札幌市里塚霊園・妻稲田ヤウ ①長女千代子 ②長男昌雄 亡 ③二男佐藤昌志 (稲田昌植) 母の生家を継ぐ、稲田家17代当主、東北帝国大学農科大学卒(現在北大)、北大スキー部創部、東京帝国大学法学部卒業、外国語学校教授、全日本スキー連盟初代会長、貴族院議員、拓務政務次官、日本大学教授など ④二女早世 ⑤三男早世 ⑥四男早世 ⑦三女早世 ⑧五男昌彦 東京帝国大学法学部卒、北海道帝国大学農学部教官、札幌高裁判事、東京家裁判事、東北学院大学教授、宮城学院長、法学博士。以上、佐藤昌介と稲田ヤウは、8人の子供に恵まれましたが男5人の内3人早世又は亡、女性2人早世。また、私の曾祖父母 岸芳蔵と稲田カツにも、5人の子供に恵まれましたが男4人の内2人早世。私の曾祖父母は、失意のなかでも新天地を求めて北海道滝川に入植したものと思われまます。祖父岸孫三郎は6歳、兄鶴三郎19歳、姉ハル11歳でした。因みに、高祖父岸與三郎は徳島県石井町で7から10町歩の敷地を有し藍染の豪商でした。何とも、両家は、子供を多数早くに亡くしました。一族の一人として、また、子を持つ親として、その悲しみが痛いほど理解できます。北海道の開拓・開発に尽力してきた佐藤家、稲田家、岸家の先祖に感謝しております。(参考まで北海道開拓についての良書を紹介します。『北海道開拓の素朴な疑問を関先生に聞いてみた』関秀志著、(株)亜璃西社発行、2020年12月発行(関先生は元北海道開拓記念館(現在、北海道博物館)学芸部長、道庁文化振興課の「北の生活文庫」発刊時の座長で、現在も親交があります。また、『クラークの手紙—札幌農学校生徒との往復書簡』の佐藤昌彦・大西直樹との共編者です。なお、関先生の本により、歌手北島三郎の「石狩川よ」の意味が更に理解出来るようになりました。)。昨年2020年6月5日、佐藤昌介先生の命日には、妻と里塚霊園に佐藤家を墓参し、昌介先生の好きな「讚美歌54番」を朗読してきました。

## — その2 —

さて、本年2021年1月12日、愛生館で、考える会の講座が有りそこで良書を見つけました。『新渡戸稲造ものがたり』柴崎由紀著 (株)銀の鈴社発行 で、日本図書館協会選定など・・・ 釈迦に説法の面もありますが、この本などの内容からお話ししてみたいと思います。

[1] 武士道と道德教育について 本105ページ 「稲造がドイツに留学していた時、「宗教なしに、日本ではどのように道德を教えているのですか」とラヴェレー教授に質問され、その答えに困ってしまったことがありました。欧米では、聖書を中心とした宗教教育で道德を教えています。日本ではいまでも、一部の学校を除いて、宗教教育は行われていません。稲造は、その代わりに自分を育てたのは何であったのかと、十年もの間、考え続けていたのです。そして、物事の善悪を自分に教えたのは、日本人の心にずっと受け継がれてきた美德、つまり「武士道」であったという結論にたどりつきました。」

私の氏名は、後呂道德で昭和22年・1947年12月13日滝川生まれ、兄の命名は祖父岸孫三郎、妹は父後呂義久(滝川町役場勤務)、私はどういうわけか、日本正統運命学会支部長 川端浩文先



生。角川漢和辞典によると、「道德」とは、人のふみ行ふべき正しい道、道理、道義 となっています。当時、私の時には、道德の授業は有りませんでした。(少し話・寄り道します。「後呂」の姓ですが、子供の頃「うしろ うしろむくな。うしろまえ」とか冷やかされたことがあり、悲しい思いをしたものでした。その後、子供が誕生して、命名するにあたり真面目に漢和辞典で検索。「(後) 将来、血筋、子孫、後世 (呂) 背骨 」と素晴らしい意味であることが解り、誇りを持つようになりました。またまた話し変わります。数年前、「北海道命名百年の記念事業」が、北大で開催され立食パーティーも有りました。そこで、丹保憲仁先生、星澤幸子先生とも面談をさせていただきました。丹保先生は、北大第15代総長、元放送大学学長、(財)北海道河川財団会長などで、本年3月9日にも会長室を訪問し懇談をさせていただきました。星澤先生は、料理研究家で、料理コーナーの出演回数ギネス世界記録更新中です。また、後刻の石狩市内での講演をお聞きし、著書『あなたに贈る食の玉手箱』星澤幸子・鳴海周平著、(株)ワニ・プラス発行は、大変参考になりました。)

② 教育などについて 本 70 ページ アメリカ留学時の将来の夢・次のような学校の設立を。  
 ①成人教育の学校 ②正規の中学に通学できない青少年のための学校 ③貧しい家の子どもたちに教える夜学校 ④その学校に女子部を加えること。 本 88 ページ 教育は祈りをもってなすべき。 本 93 ページ 子どもへの愛は・・・神に最も近い愛です。 本 120 ページ 学理 (学問上の理論) の応用 (例えば、道内には 平成7年から「北海道自治体学会」が設立されて、研究者・行政職員・議会議員などが、相互に「理論と実践の一体化」に努めております)。 本 122 ページ 後藤新平は医学、稲造は農学でどちらも実際に役立つ学問 (実学)。本 125 ページ 第一高等学校校長時 人格 (人間が成長するにつれてかたちづくられる内面の特性) を育てる教育を行う。本 127 ページ 同校長時 週に一回倫理 (道德) の話、特別講義で人格、教養、社交性の向上を図る。 本 130 ページ 知行一致 (知行合一) ・知識とおこないに食い違いないこと。(一例を挙げますと、西郷隆盛翁は「陽明学」を学び、薩摩藩主島津斉彬公の目にとまりました。南洲翁は千冊の本を一心不乱で読破し、精神を練り、魂を鍛えあげました。) 本 132 ページ 専門センス (専門的知識) よりコモンセンス (常識)。 本 133 ページ 常識と教養を備えた人間になることが、何かの専門家になるよりも、まずは大切なり。本 196 ページ 一心に学問をなさることも大切ですが、それ以上に人間として修養に心掛けるのが大切です。人間として恥でない人間になる。そこに夜学校の本当の精神があります。学問より実行。本 197 ページ 人生の目的は、地位や、名誉や、富を得ることではなく、心豊かな人間として完成することにある。

③ これ以降は私見を少し書いてみます。これからの教育は、徳育、知育、体育、食育の4つのバランスのとれた組み立てが必要かと思えます。食育の大切さは、日野原重明先生、星澤幸子先生の考えにもあります。また、新渡戸先生の座右の書・カーライルの『衣服哲学』にも通じるころがあるかと思えます。衣服哲学とは、人間の身体はその内にひそむ霊を包む衣服であるとする哲学です。他界・昇天するまでの、この世 (現世) での生活を支えてくださる身体の主な栄養源は、食事です。食生活の重要性を再認識したいものです。また、高齢化社会にむかい生涯教育の必要性も増します。かつて、道庁文化振興課にも勤務し、北海道教育庁とも連携しながら、道



内当時は 212 市町村全体の文化振興の向上を図る、お手伝いをしてきました。当時具体的には、(財)北海道文化財団との連携(当時企画立案創設されたのが磯田憲一氏、現在理事長。かつて、私と一緒に自治省に出向)、北の生活文庫の発刊、地域文化選奨事業、道民栄誉賞事業、芸術関係の短期海外派遣への支援、(財)北海道演劇財団設立の相談、札幌ドーム建設への支援などの仕事を所管。これからの時代の、まちづくり・ひとづくりには、「文化的センス」も必要かと思われます。簡単に言えば「文化」とは、やさしさ、いたわり、おもいやり、おいしさ、です。例えば、「行政の文化化」とは、公共施設を建てる場合には、高齢者や身体の不自由な方が困らないように配慮すること。困っておられる方へ親身になって相談にのるなどの心遣いです。企業の文化化、社会の文化化などに置き換えて、考えてみていただけますか。これからは、更に「物の幸せから心の幸せへ」と、移行することも大切です。

目下、私は行政職職員を、昨年 2020 年 4 月まで 49 年間務めてきました。札幌市財政課、阿寒町助役代行(町政全般)、石狩市選挙管理委員会、道庁 6 部・渡島・日高、自治省消防庁(コンテナ災害、救急救助業務担当)、自治省選挙課(法改正 2 度・衆参同日選挙)、(財)北海道環境財団、北海道市町村備荒資金組合(全道 179 市町村の災害対策のための自治体)で、延 21 ヶ所で勤務してきました。生涯現役を目指して、これまでの 49 年間の知識と経験を次世代の方にお伝えしたく、2020 年 2 月に「まち・ひとづくり研究機構 主宰」を立ち上げました。主な業務は、まちづくり・ひとづくりの研究、講演、アドバイザーです。(この立ち上げへの考え方は、日野原先生の助言も根底にあります。)これまでの知識と経験を活かしながら、2023 年建設予定の「札幌遠友夜学校記念館」運営委員の 1 人として、微力ながら努力して参りたいと思います。(現在の所属は徳島交流大使、北海道自治体学会、法と教育学会、霞会(自治省関係、現在総務省)、アルテ市民ポポロ(安田侃先生)、北海道南洲会幹事(西郷翁)、楽しきハマナス会監事(日野原重明先生)、石狩市民カレッジ、町内会カラオケ同好会、小学校・社会福祉法人図書ボランティアなどです)。以上、乱文をお読みいただき誠に有難うございました。感謝合掌です♪「人の人たる所以は人と人との結びつきにあり(ドイツ法学者、ギールケ)」♪

(付記・氏名に敬称又は敬称略などとなっておりますが、文脈の中での使い方に配慮したものであります、ご理解願います。)



## 事務局だより

新年度になりましてもコロナ禍が落ち着かず、不安と不自由を抱えた日々を送っていらっしゃると思います。本会の記念フォーラム、連続講座、読書会、いずれも感染予防対策をした開催を準備しておりますが、今後の状況により中止・変更等をさせていただく場合がありますのでご了承くださいたく存じます。可及的速やかに本会 HP でお知らせするよう努めますが、直前の判断を迫られる場合も想定されますので、イベント等開催の有無は電話・FAX・電子メールでご確認ください。

### 2020年度 主な活動

- 4/23 (木) 遠友夜学校校旗・徽章の六角晶と乳母車、2つのロゴ入り角封筒デザイン決定・印刷
- 4/24 (金) コロナ非常事態宣言を受け、6/13 開催予定第8回記念フォーラム中止・延期の決定
- 6～11月 (月2回) 新渡戸稲造記念公園の清掃・点検 (街区公園管理業務委託作業)
- 6/5 (金) 新渡戸稲造記念公園花壇花植え (4名参加)
- 6/9 (火) 第8回記念フォーラム中止・延期案内、連続講座チラシ、会員募集書、建設募金趣意書の発送
- 7～2月 (第2火) 札幌遠友夜学校記念館建設支援「連続講座」/道民カレッジ連携講座 (愛生館サロン)
- 8月・9月・10月「連続講座」の一環として、出版記念講演会、音楽と講演の夕べ (時計台ホール)
- 10/24 (土)「新渡戸十次郎生誕200年記念フォーラム・十和田」に秋山副理事長参加
- 12～3月 白糠町のご協力により遠友夜学校記念館建設募金クラウドファンディング開始
- 通年 (第3木) 新渡戸稲造読書会 (1)、(第3金) 新渡戸稲造読書会 (2)

### 2021年度 主な活動 (予定・計画を含む)

- 4月～ 遠友夜学校記念館建設募金クラウドファンディング再開 (詳細は本誌 p.30～31 参照)
- 4/7 (水) 北海道コカ・コーラボトリング (株) より新渡戸稲造記念公園に募金型自動販売機の提供・設置
- 4/9 (金) 白糠町・棚野孝夫町長、本会・松井博和理事長のふるさと納税寄付金手交式
- 5～11月 (月2回) 新渡戸稲造記念公園の清掃・点検 (街区公園管理業務委託作業)  
\*\*\* 花の手入れ、草取り、ホウキ掃きなど。ボランティア参加希望の方はお知らせ下さい \*\*\*
- 5月初旬 募金型自動販売機の除幕式 (予定)
- 6/19 (土)「第9回新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会記念フォーラム (道民カレッジ連携講座)」  
開場: 13:30 開演 14:00～16:30 場所: かでる 27 8階 820 研修室 (入場無料)  
基調講演:「新渡戸稲造と松山事件～警世の扁額から～」 青山 淳平氏 (作家)
- 7～2月 (第2火) 札幌遠友夜学校記念館建設支援「連続講座」/道民カレッジ連携講座 (愛生館サロン)
- 10/17 (日)「第4回稲造サミット・盛岡」(盛岡グランドホテル) 参加
- 通年 (第3木) 新渡戸稲造読書会 (1)、(第3金) 新渡戸稲造読書会 (2)



## 一般社団法人「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」役員

(2020年12月)

理事長：松井博和 (北大名誉教授、札幌農学同窓会理事長)

副理事長：秋山孝二 (秋山記念生命科学振興財団理事長)

理事：高橋大作 (日本ファーターイル技術部長)

橋本信夫 (北大名誉教授、獣医学)

伴 秀美 (星槎道都大特任教授)

久田徳二 (北大客員教授、札幌農学同窓会理事)

平池 暁 (北海道エアポート部長)

三上節子 (新渡戸研究者、文学博士)

監事：藏田親義 (札幌学院大名誉教授)

出村克彦 (北大名誉教授、農業経済)

運営委員：常田益代

細川房子

木村高志

角田貴美

大沼芳徳

遠藤大輔

後呂道徳

宮澤洋子

伊藤めぐ

日向洋喜

高木富美子

中橋賢一

奥村清仁

山田雄亮

山本慎平

村口康博

岡村徳成

有賀早苗

顧問：荒川裕生 (札幌大学理事長、元副知事)

石森秀三 (北大特別招聘教授、北海道博物館長)

磯田憲一 (北海道文化財団理事長、元副知事)

植松高志 (北大関西同窓会会長)

大山綱夫 (前北星学園理事長)

黒柳俊雄 (北大名誉教授、農業経済)

佐藤全弘 (大阪市大名誉教授、新渡戸研究者)

七戸長生 (札幌農学同窓会名誉会員)

杉江和男 (北大校友会エルム会長)

瀬戸 篤 (小樽商大ビジネススクール教授)

棚野孝夫 (白糠町長、北海道町村会長)

丹保憲仁 (北大第15代総長)

寺島実郎 (多摩大学学長)

藤井 茂 (新渡戸基金理事長)

藤田正一 (北大名誉教授、元副学長)

堀田国元 (機能水研究振興財団理事長)

松沢幸一 (明治屋社長、元キリンビール社長)

三島徳三 (北大名誉教授、農業経済)

三津正人 (札幌農学同窓会関西支部長)

横田 篤 (北大理事・副学長、農学研究院教授)

横田 浩 (トクヤマ社長、北大東京同窓会会長)



「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」会報 第9号

発行：2021年4月29日

一般社団法人 新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会  
本会活動・本会報に関するお問合せ先：

〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目8 愛生館ビル

TEL: 011-577-1441 FAX: 011-241-1150

info@nitobe-enyu.org

http://nitobe-enyu.org/